

兵庫労働局発表
令和5年6月20日

報道関係者 各位



[照会先]

兵庫労働局労働基準部安全課
課長 平野 逸郎
安全専門官 西脇 省悟
(直通電話) 078 (367) 9152

兵庫労働局長による 建設現場安全パトロールを実施します！

かねざし よしゆき

兵庫労働局（局長 金刺 義行）では、「全国安全週間」（7月1日～7日）、「建設業労働災害防止強化月間」（7月）に、労働局長が建設現場での安全パトロールを実施します。

実施日時：7月3日（月）13時30分～15時30分頃（多少の雨天決行）
現場：（仮称）神戸須磨シーワールドホテル建設工事
（神戸市須磨区若宮町1丁目1、3-5）※別添参照
元 請：株式会社鴻池組 大阪本店

本パトロールは、兵庫労働局と神戸西労働基準監督署が、建設業労働災害防止協会兵庫県支部との合同により、建設現場の墜落・転落災害防止対策、熱中症予防を重点に実施し、兵庫労働局長が、建設工事関係者に対し、労働災害防止対策の強化を要請するものです。

◇パトロール現場への取材（お願い）

パトロール現場への当日の取材については、保護帽等の準備を行う都合上、あらかじめ人数等を把握する必要がありますので、兵庫労働局労働基準部安全課 西脇あて、6月28日（水）までに別紙パトロール取材申込書にてご返信ください。

- （添付資料）
- 兵庫労働局長による建設現場安全パトロールの実施について
 - パトロール取材申込書
 - パトロール現場概要、アクセス
 - 建設業労働災害防止強化月間実施要綱

兵庫労働局長による建設現場安全パトロールの実施について

(神戸西労働基準監督署、建設業労働災害防止協会兵庫県支部との合同)

- 1 日時 令和5年7月3日(月) 13:30~15:30
- 2 事業場 (仮称)神戸須磨シーワールドホテル建設工事
(神戸市須磨区若宮町1丁目1、3-5)
13:20にゲートNo.2に集合してください。
(別添パトロール現場アクセス参照)

3 タイムテーブル

- 13:30 現場事務所内会議室にて開催
発注者あいさつ、趣旨説明、工事概要等説明
- 14:00 昼礼 ・局長あいさつ(要請等)
・作業所長あいさつ(安全指示等)
・安全唱和、指差呼称、一人KY等
- 14:15 安全パトロール実施
- 14:50 報道関係者による囲み取材
- 15:00 全体講評等
- 15:30 終了

4 パトロール出席者

兵庫労働局：局長、安全課長、安全専門官

神戸西労働基準監督署：署長、安全衛生課長、労働基準監督官

建設業労働災害防止協会兵庫県支部関係者

《注意事項》

- ・取材を希望される報道関係者は、別紙「パトロール取材申込書」で6月28日(水)までに安全課あてお申込み願います。
- ・取材は安全パトロール終了までとし、全体講評につきましては取材の対象外とさせていただきます。
- ・取材の際は、長ズボン、安全靴を着用してください。安全靴がない場合は、動きやすく、しっかりした靴底のものを着用してください。
- ・取材いただく方の安全を確保するために保護帽を現場事務所にてご用意いたします。
- ・労働局職員、工事現場関係者の指示に従って、安全に行動してください。
- ・工事現場関係者からの許可のない場所には近づかないようにしてください。また、工事現場関係者からの許可のない場所は撮影を行わないようお願いします。

<申込先>

兵庫労働局労働基準部 安全課 西脇 あて

FAX : 078-367-9166

令和5年 月 日

パトロール取材申込書

1 報道機関名	
2 取材担当者氏名	
3 電話番号	() -
4 保護帽貸与の有無	有 ・ 無

<連絡先>

兵庫労働局労働基準部安全課

担当 西脇

TEL (078) 367-9152

(仮称)神戸須磨シーワールドホテル建設工事



株式会社鴻池組 大阪本店

工事概要

建物名称	(仮称)神戸須磨シーワールドホテル建設工事		
建築主	株式会社グランビスタ ホテル&リゾート (神戸須磨Parks+Resorts共同事業体 代表構成団体 株式会社サンケイビル)		
所在地	神戸市須磨区若宮町1丁目1番の一部(地番)		
用途地域	2種住居地域(近隣商業地域)		
地域・地区指定	準防火地域(防火地域)、第5種高度(第6種高度)、風致地区、景観計画区域 都市公園(5.5.4海浜公園)、都市計画道路(1.3.5海岸線)・南側の一部が臨港地区		
設計・監理	浅井謙建築研究所株式会社		
施工	株式会社鴻池組 大阪本店		
契約工期	2022年6月1日～2024年1月31日(延べ20ヵ月)		
建物概要			
建物用途	ホテル(80室)、歩廊、自動車車庫		
面積	敷地面積	9,516.48m ²	
	建築面積	2,300.30m ² (建ぺい率24.18%)	
	基準階面積	994.57～997.24m ² (ホテル客室階)	
	延べ面積	8,114.07m ²	
構造階数	主体構造	鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、骨組膜構造	
	階数	地上8階	
高さ	軒高	28.71 m	
	最高部高さ	29.68 m	
寸法	基準階高	3,200mm	
	基準天井高	2,600mm(客室)、2,300mm(廊下)	
仕上	外部	コンクリートの上、防水形複層塗材	
	内部(客室階)	床:タイルカーペット/壁:ビニルクロス/天井:ビニルクロス	
設備	昇降機	No.1:乗用EV 15人 90m/min No.2:乗用(車いす仕様)EV 15人 90m/min No.3:人荷共用EV 20人 90m/min	

現場案内図

(株)鴻池組

工事名：(仮称)神戸須磨シーワールドホテル建設工事
須磨海浜公園再整備事業の駐車場工事

工事場所 〒654-0049
神戸市須磨区若宮町1丁目3-5

現場事務所 〒654-0049
神戸市須磨区若宮町1丁目3-5

TEL 078-754-5914 FAX 078-754-5915

JR須磨
海浜公園駅



◆ 電車をご利用の場合

JR「須磨海浜公園」駅から南へ徒歩5分

◆ 車をご利用の場合

若宮IC東出口を降りて、場内駐車場使用不可のため、立体駐車場（一般有料駐車場）をご利用ください。

※駐車料金は自己負担となります。

令和5年 建設業労働災害防止強化月間実施要綱



第1 趣 旨

兵庫県内の建設業における令和4年の死傷者数は564人で前年より82人増加し、死亡者数は前年と同じ8人で、兵庫第13次労働災害防止推進5か年計画の目標（令和4年の死亡者数10人以下、死傷者数402人以下）について、死亡者数は達成できたが、死傷者数は、新型コロナウイルス感染症り患者を除いて449人と過去最少となったものの、達成はできなかった。

死傷者を事故の型別でみると、「墜落・転落」が136人（30.2%）と最も多く、うち、お2人が亡くなっている。「墜落・転落」の多くは、高所作業における安全な作業床や手すりの未設置、墜落制止用器具の未使用、はしご・脚立の不適切な使用などが原因で発生していることから、労働災害防止に向けた基本的な対策の実施徹底が望まれる。

このような状況の中、リスクアセスメントにより建設現場に潜在する危険性を評価し、適切な措置を講ずるとともに、労働安全衛生規則で定める墜落防止措置に加えて、本年3月に改正された「足場からの墜落・転落災害防止総合対策推進要綱」（以下「推進要綱」という。）に基づく対策実施の徹底を図ることが重要である。

このため、本年度も7月を「建設業労働災害防止強化月間」（以下「強化月間」という。）と定め、元方事業者による統括安全衛生管理と関係請負人に対する指導の徹底、法令に則した発注・施工、推進要綱の普及促進、リスクアセスメントの確実な実施による安心・安全な建設現場の実現等、事業者のみならず、行政・発注者・災害防止団体等の関係者が一丸となって、県下全域で集中的かつ効果的な労働災害防止活動を展開し、実施期間中の死亡災害ゼロを目指す。

第2 実施時期 令和5年7月1日から令和5年7月31日まで

第3 主 唱

- ・ 兵庫労働局
- ・ 県下労働基準監督署
- ・ 建設業労働災害防止協会兵庫県支部

第4 協 賛

- ・ 一般社団法人 兵庫労働基準連合会
- ・ 公益社団法人 建設荷役車両安全技術協会兵庫県支部
- ・ 一般社団法人 日本クレーン協会兵庫支部

第5 重点事項

- ・ 足場等からの墜落・転落災害防止措置の確実な実施
- ・ 墜落制止用器具の適切な使用の促進及び旧構造規格の安全帯の使用禁止
- ・ はしご、脚立からの墜落・転落災害の防止
- ・ 車両系建設機械及び移動式クレーン災害の防止
- ・ 土砂崩壊災害の防止
- ・ 解体工事における労働災害の防止
- ・ 高年齢労働者及び外国人労働者に対する労働災害の防止
- ・ 転倒災害、腰痛等の行動災害の予防対策
- ・ 一人親方等の安全確保対策の実施
- ・ 建設現場における火災対策
- ・ 自然災害からの復旧・復興工事における災害の防止
- ・ 交通労働災害の防止

- ・ 職長・安全衛生責任者の職務の励行
- ・ 熱中症の予防
- ・ 石綿及び化学物質による健康障害防止対策の徹底

第6 実施事項

1 主唱者

- (1) 関係災害防止団体、事業者、局署によるパトロールの実施
- (2) 建設工事現場に対する集中的な監督指導・個別指導の実施
- (3) 建設業者及び発注者に対する労働安全衛生規則に基づく足場からの墜落防止措置の周知と履行確保
- (4) 推進要綱に基づく対策の周知
- (5) 建設業の労働災害防止に係る建設工事関係者連絡会議の開催
- (6) 発注機関等への強化月間実施要綱の取組要請
- (7) 建設工事従事者の安全及び健康の確保の推進に関する法律に基づく、建設工事従事者の安全及び健康の確保に関する基本的な計画の周知
- (8) 建設業に係る労働災害防止を主眼とした集団指導等の実施
- (9) 石綿最高裁判決を踏まえた法改正の周知
- (10) その他建設店社及び建設工事現場に対する強化月間実施要綱の周知、広報誌等による広報活動等

2 発注者（要請事項）

- (1) 現場担当職員に対する労働安全衛生法令についての教育・研修の実施
- (2) 工事の計画段階における工期、工法、作業要領等についての安全衛生事前審査の徹底
- (3) 発注条件の適正化（施工の安全衛生に配慮した発注、建設工事における安全衛生経費の確保）、計画的な発注及び工期の平準化や弾力化等
- (4) 発注者を中心としたパトロール、関係事業者全てを構成員とする災害防止協議会の設置と、その決定に基づく安全衛生活動の推進
- (5) 入札参加者指名時における安全成績の優良な業者の選定及びリスクアセスメント、労働安全衛生マネジメントシステム等、自主的な安全衛生活動の取組を評価する仕組みの導入

3 工事实施者（建設店社及び建設工事現場）

- (1) 経営首脳による強化月間における目標の設定及び現場パトロール等の安全衛生管理活動の推進
- (2) 元方事業者による統括安全衛生管理と関係請負人に対する指導の徹底
- (3) リスクアセスメント（化学物質を含む。）の実施に基づく工事安全衛生目標の設定及び工事安全衛生計画の作成・実施
- (4) 建設業労働安全衛生マネジメントシステム（略称コスモス）に基づく管理活動の推進、安全衛生活動の達成状況の評価とそれに基づく計画・活動要領等の見直し・改善
- (5) 墜落・転落災害の防止対策
 - ア 労働安全衛生規則に基づく適正な足場等の設置
 - イ のり面保護工事等、労働安全衛生規則に基づくロープ高所作業に係る危険防止措置
 - ウ 推進要綱に基づく対策の実施
 - エ 手すり先行工法の積極的な採用等、より安全な措置
 - オ 十分な敷地を確保できる場合は一側足場ではなく本足場を設置
 - カ 保護帽（墜落時保護用）、保護具の適正使用及び高所作業時における墜落制止用器具については、原則としてフルハーネス型とするとともに、墜落時の落下距離に応じた適切な

- 保護具の使用並びに旧構造規格の安全帯の使用禁止
- キ 墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成 30 年 6 月 22 日付け基発 0622 第 2 号）に基づく墜落・転落防止対策の推進
- ク 足場の組立て等作業主任者、木造建築物の組立て等作業主任者等による職務の励行
- ケ 屋根改修工事や太陽光パネル取付工事等において、足場の設置が困難な場合の適切な墜落制止用器具取付設備の設置
- コ はしご、脚立等からの墜落・転落災害防止対策の実施
- (6) 車両系建設機械及び移動式クレーン災害の防止対策
 - 有資格者の配置、作業計画の作成、作業手順・合図の確認、路肩等の崩壊防止、幅員の確保、誘導者の配置、作業半径内における立入禁止措置等接触防止対策の実施及び移動式クレーン構造規格等の改正に基づく安全確保
- (7) 土砂崩壊災害の防止対策
 - 上下水道やガス、電気等のインフラ整備に伴う小規模な溝掘削作業（掘削深さが概ね 1.5 メートル以上 4 メートル以下で、掘削幅が概ね 3 メートル以下の溝をほぼ鉛直に掘削する作業）における土止め先行工法の採用
- (8) 解体工事における労働災害の防止対策
 - 鉄筋コンクリートや鉄骨の建築物等の解体工事において、リスクアセスメントの手法を用いた作業計画の策定、現場責任者・作業主任者の直接指揮、上下作業の禁止、合図の統一、保護帽（墜落時保護用）・墜落制止用器具等の適正使用
- (9) 高齢労働者に対する労働災害の防止対策
 - ア 「高齢労働者の安全と健康確保のためのガイドライン」（令和 2 年 3 月 16 日付け基安発 0316 第 1 号）に基づいた職場環境の整備
 - イ 身体機能の低下を防ぐための運動の促進
 - ウ 高齢労働者に対する基礎疾患に伴う労働災害発生リスクに係る教育の実施
 - エ 基礎疾患等の健康障害リスクを持つ労働者が、労働災害につながるような状態で作業に従事することがないように健康管理及び注意喚起の実施
- (10) 外国人労働者に対する労働災害の防止対策
 - 外国人労働者に配慮した適切な安全衛生教育の実施及び建設現場内に外国人労働者が理解できる労働災害防止に関する標識、掲示及び表示
- (11) 一人親方等の安全確保対策
 - ア 一人親方等が業務中に被災した災害の把握
 - イ 建設現場においては、労働者だけでなく、一人親方等を含め、安全衛生に関する措置を統一的に実施
 - ウ 一人親方等の安全及び健康への配慮、業務の特性や作業の実態を踏まえ、安全衛生に関する知識習得等についての支援
 - エ 建設現場において、労働者としての実態がある者については、労働者として対応するとともに、一人親方に対する労災保険の特別加入制度への積極的な加入勧奨
- (12) その他の安全対策
 - ア 「転倒災害防止対策の推進について（令和 5 年 5 月 19 日付け基安発 0519 第 4 号）」に基づいた転倒災害防止対策の推進
 - イ 木造家屋建築工事における足場先行工法による工事の実施、安全衛生管理体制の整備
 - ウ チェーンソーによる伐木等作業における特別教育の実施及び「チェーンソーによる伐木等作業の安全に関するガイドライン」（平成 27 年 12 月 7 日付け基発第 1207 第 3 号、令和 2 年 1 月 31 日付け基発 0131 第 1 号改正）に基づく対策の実施
 - エ 自然災害からの復旧・復興工事における労働災害の防止
 - オ 建設現場において有機溶剤等を取扱う際の火災防止対策の実施

- カ ずい道等建設工事について、「山岳トンネル工事の切羽における肌落ち災害防止対策に係るガイドライン」（平成 30 年 1 月 18 日基発 0118 第 1 号）、「シールドトンネル工事に係る安全対策ガイドライン」（平成 29 年 3 月 21 日基発 0321 第 4 号）に基づく対策の実施
 - キ 現場と事務所間の往復時等、交通労働災害防止のためのガイドライン（平成 25 年 5 月 28 日付け基発 0528 第 2 号）に基づく交通労働災害防止対策の推進及び道路上で作業する労働者に反射材を貼付したベストを着用させるなど、視認性向上による交通労働災害の未然防止
 - ク 建設工事現場において、荷役作業に従事する陸上貨物運送事業の労働者に対する荷役ガイドラインに基づく荷主等としての取組の推進
 - ケ 新規入場者教育、職長等及び安全衛生責任者の能力向上教育に準じた教育等（平成 29 年 2 月 20 日基発 0220 第 3 号）、建設工事に従事する労働者に対する安全衛生教育の実施
- (13) 熱中症の予防対策
- ア 職場における熱中症予防基本対策要綱（令和 3 年 4 月 20 日付け基発 0420 第 3 号）に基づく対策の実施
 - イ 健康診断結果を用いた就業上の措置、作業開始前の健康状態の確認
 - ウ 作業を管理する者や労働者に対する労働衛生教育の実施
- (14) 石綿及び化学物質による健康障害の防止対策
- ア 令和 2 年 10 月 1 日から段階的に施行されている改正石綿則に基づく建築物の解体工事等における石綿ばく露防止対策の徹底
 - イ 剥離剤を使用した塗料の剥離作業における労働災害の防止について（令和 2 年 8 月 17 日付け基安化発 0817 第 1 号、令和 2 年 10 月 19 日付け基安化発 1019 第 1 号改正）に基づくベンジルアルコール等を含有する剥離剤を使用した塗料の剥離作業における労働災害防止
 - ウ 塗装作業等における有機溶剤中毒の予防、塗料等の掻き落とし作業に係る鉛等有害物、特定化学物質に係るばく露防止対策の徹底及び化学物質に係るリスクアセスメントの実施
 - エ 令和 3 年 4 月 1 日から段階的に施行されている溶接ヒュームに係る改正特定化学物質障害予防規則に基づくばく露防止対策の実施
 - オ 酸素欠乏・硫化水素中毒危険作業における災害防止対策の徹底
 - カ 通風の不十分な場所における内燃機関の使用による一酸化炭素中毒防止対策の徹底
 - キ 第 10 次粉じん障害防止総合対策に基づく対策の推進及び「ずい道等建設工事における粉じん対策に関するガイドライン」（平成 12 年 12 月 26 日基発第 768 号の 2、令和 2 年 7 月 20 日付け基発 0720 第 2 号改正）に基づく対策の実施